

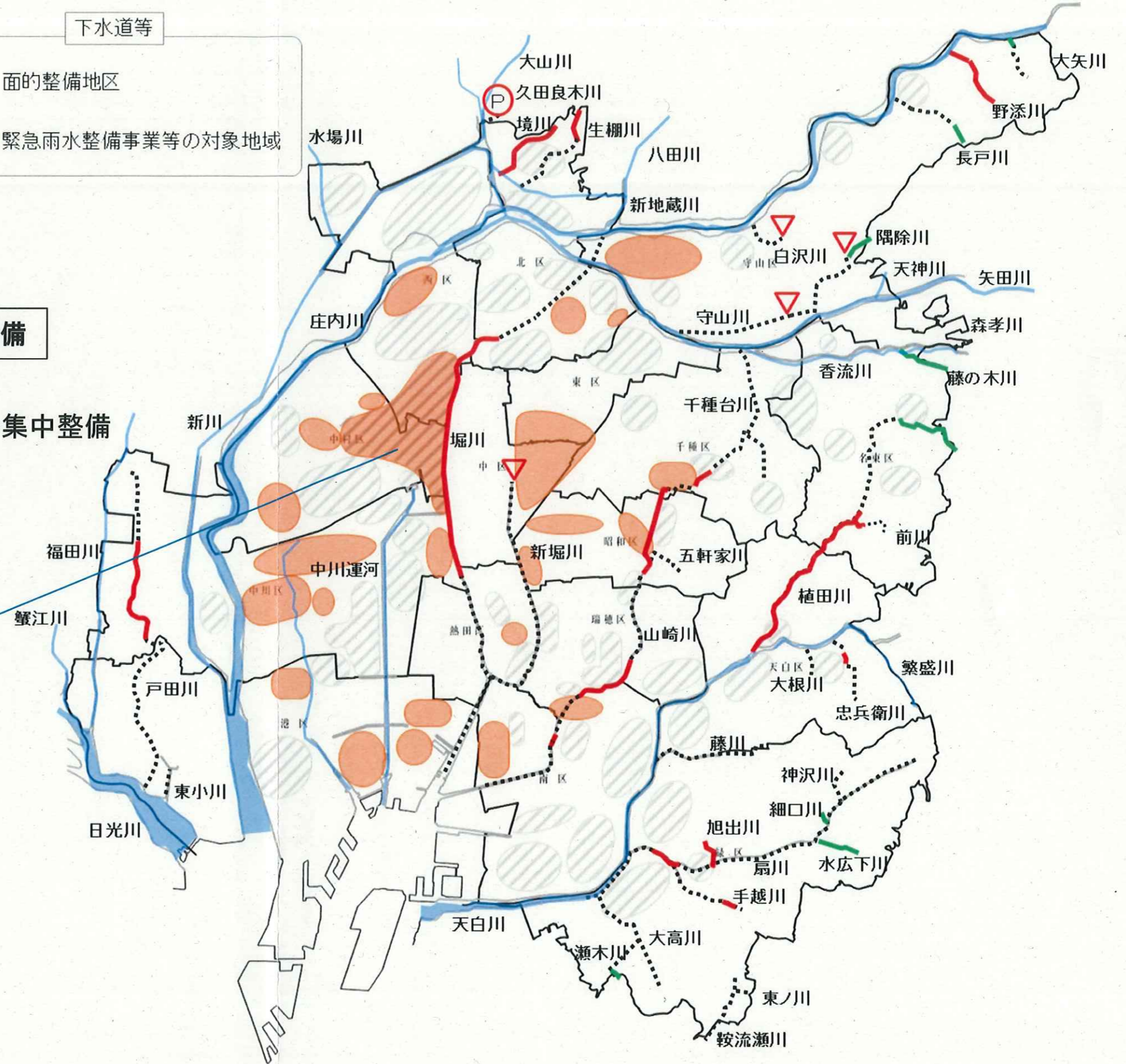
治水施設の整備計画

凡例

河川		下水道等	
	優先整備河川		面的整備地区
	その他の河川		緊急雨水整備事業等の対象地域
	整備済み河川		流域貯留施設整備
			河川ポンプ増強

リニア中央新幹線開業に向けた集中整備

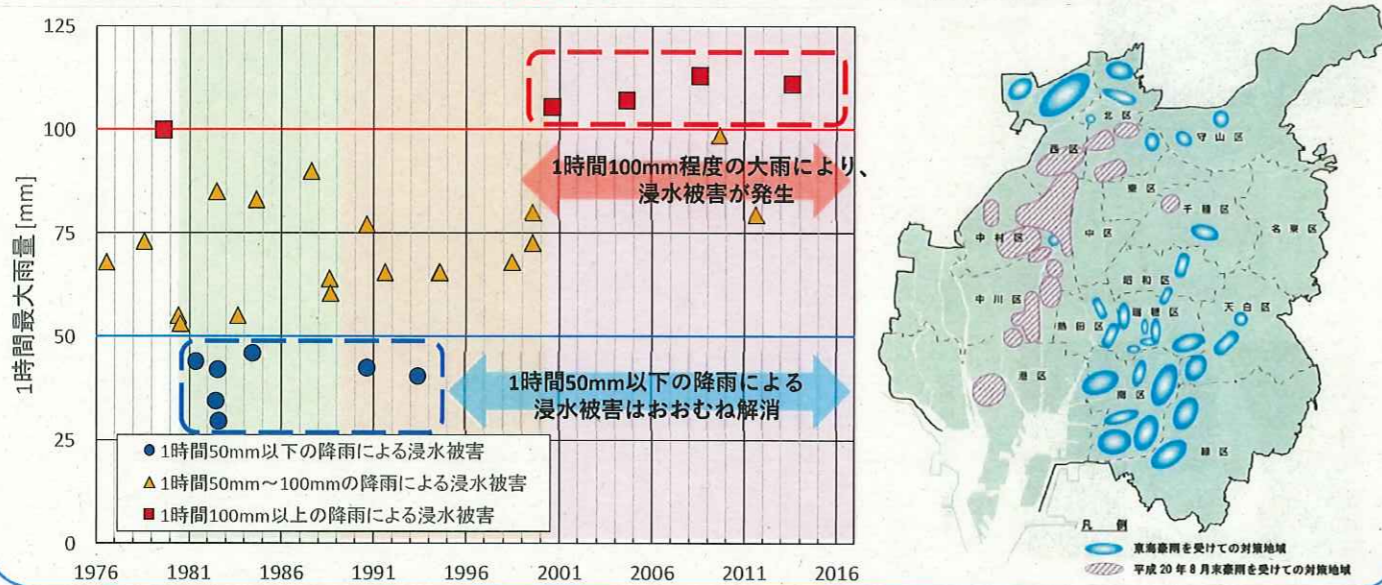
- 堀川の早期改修
- 中川運河上流地域における下水道の集中整備



名古屋市総合排水計画改定の概要

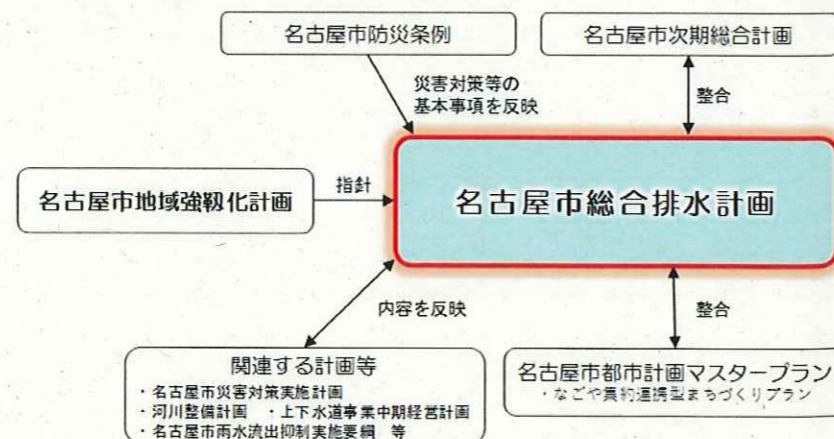
改定の背景

- 河川、下水道等を総合調整し、全市的な視野に立った統一的な整備計画として、昭和54年に**名古屋市総合排水計画**を策定、昭和63年に一部見直し
⇒ **1時間50mm**の降雨に対応する施設整備は**概成**
- 平成12年の東海豪雨等で著しい浸水被害を受けた地域等を対象に、平成13年度から**緊急雨水整備事業**を推進
⇒ **1時間60mm**の降雨に対応する施設整備を推進した地域では、**1時間約97mm**の降雨に対しても**床上浸水をおおむね解消**
⇒ 一部地域を除き**今年度に完了予定**
- 平成19～26年度に**河川整備計画**を策定し、河川整備を推進



改定の必要性

- 全国的な治水行政の動向や本市を取り巻く課題を踏まえ、本市が管理する治水施設整備における**全市的な目標を定めるとともに**、ソフト対策を含めた**総合的な治水対策の方針**を示す計画として改定することが必要



基本理念・計画目標

○ 基本理念

「市民の命を守る」、「市民の財産を守る」、「都市機能を確保する」ことの実現に向けて、「市」が必要な治水施設整備を行うとともに、「市民・地域・事業者」の取組を支援することで、「**ともにつくる 大雨に強いまち なごや**」を目指す。

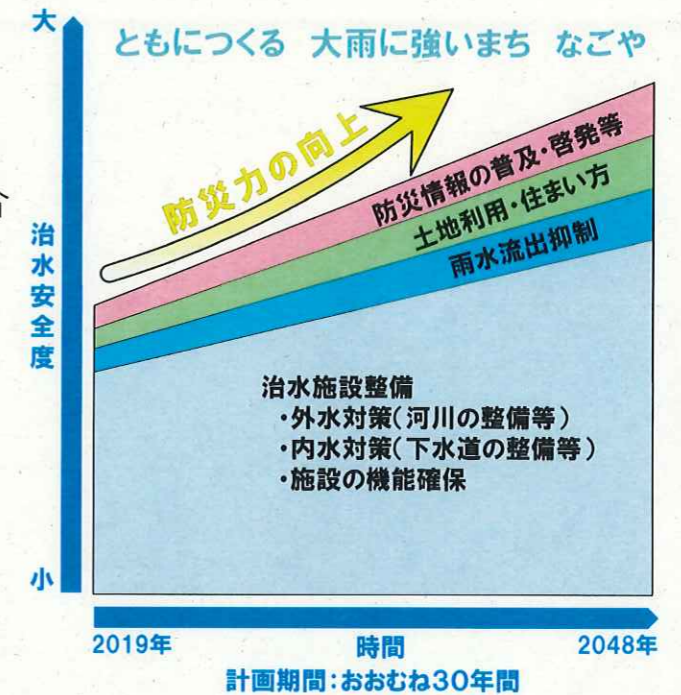
○ 計画目標

◇総合的な治水対策

- 様々な規模の降雨に対して、「自助」「共助」「公助」を組み合わせた総合的な治水対策を推進し、**浸水被害を軽減する**
- 想定し得る**最大規模の降雨**に対しても、**市民の命を守る**

◇本市が管理する治水施設整備

- 1時間63mm^{※1}**の降雨に対して、**浸水被害をおおむね解消する**
 - 1時間約100mm^{※2}**の降雨に対して、**床上浸水をおおむね解消する**
- ※1 名古屋地区における年超過確率1/10の降雨
※2 名古屋地方気象台における過去最大の1時間雨量相当



事業の推進

○整備費（計画期間：2019年度からおおむね30年間）

約2,700億円（河川：約970億円、下水道・排水路等[※]：約1,730億円）
※ 機能向上に係る費用のみ計上

○整備効果

- 本計画に基づく施設整備を進めることで、推定で直接被害額等**約4,000億円**の被害軽減効果
- 治水対策は市民の命や暮らし、経済活動を支える土台となり、**中部経済圏のさらなる発展に寄与**

今後の予定

平成31年 1月～2月 パブリックコメントの実施
平成31年 3月 名古屋市総合排水計画の改定